

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【公開番号】特開2011-253911(P2011-253911A)
 【公開日】平成23年12月15日 (2011.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報2011-050
 【出願番号】特願2010-126238(P2010-126238)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 3/28 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 3/28 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配線層及び絶縁層を複数層有し、

各配線層及び各絶縁層は交互に積層され、

最上層の配線層を被覆する最上層の絶縁層は、385nm<波長≤495nmの何れかの波長に可視光の反射率のピークを有する材料により構成されており、紫色から青色の範囲の何れかの色として視認可能である配線基板。

【請求項 2】

前記配線層は、495<波長≤750nmの何れかの波長に可視光の反射率のピークを有する材料により構成されている請求項 1 記載の配線基板。

【請求項 3】

前記材料は、多環式系顔料又は無機顔料を含有した絶縁性樹脂である請求項 2 記載の配線基板。

【請求項 4】

前記多環式系顔料は、アントラキノン、オキサジン、キナクリドン、ペリレン、インジゴイド、イミダゾロン、キサンテン、カルボニウム、ビオランスロン、フタロシアニン、アントラキノン、インジゴイド、カルボニウムからなる群から選択され、

前記無機顔料は、ウルトラマリン青、プロシア青（フェロシアン化鉄カリウム）からなる群から選択される請求項 3 記載の配線基板。

【請求項 5】

前記最上層の配線層は、前記最上層の絶縁層中に埋設され、

前記最上層の配線層の側面及び裏面は、前記最上層の絶縁層に被覆され、

前記最上層の配線層の表面は、前記最上層の絶縁層の表面に露出している請求項 1 乃至 4 の何れか一項記載の配線基板。

【請求項 6】

前記最上層の配線層の裏面に、他の配線層のビア配線が接続されている請求項 5 記載の配線基板。

【請求項 7】

前記最上層の絶縁層の次層の絶縁層上に前記最上層の配線層が形成され、

前記最上層の配線層を被覆して、前記次層の絶縁層上に前記最上層の絶縁層が形成され

、

前記最上層の絶縁層に、前記最上層の配線層の一部を露出する開口部が形成されている請求項 1 乃至 4 の何れか一項記載の配線基板。

【請求項 8】

前記最上層の配線層は、電極パッド、外部接続端子、又は外部接続端子の形成部である請求項 5 乃至 7 の何れか一項記載の配線基板。

【請求項 9】

前記最上層の絶縁層は、熱硬化性の絶縁性樹脂、又は感光性の絶縁性樹脂である請求項 1 乃至 8 の何れか一項記載の配線基板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本配線基板は、配線層及び絶縁層を複数層有し、各配線層及び各絶縁層は交互に積層され、最上層の配線層を被覆する最上層の絶縁層は、3 8 5 n m < 波長 ≤ 4 9 5 n m の何れかの波長に可視光の反射率のピークを有する材料により構成されており、紫色から青色の範囲の何れかの色として視認可能であることを要件とする。